

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成22年1月5日

化学物質等のコード : 2010-4331

化学物質等の名称 : よう化タリウム( )

2.危険有害性の要約

分類の名称;急性毒性物質

危険性;不燃性であり、通常の取扱で引火、発火、爆発などの危険性は低い。

有害性;吸入又は経口摂取すると有害で、心臓、肝臓、腎臓の毛細血管に  
対し強い毒性を示す。ヒトが多量に経口摂取した症例では、  
急激な消化器の刺激(腹部痙攣、吐き気、嘔吐、下痢)、末梢神経炎、  
中枢神経系障害、精神症状、脱毛及び四肢の痛みなどの症状が認められた。

環境影響;データなし

3.組成、成分情報

化学名 よう化タリウム( )  
含有量 99 % (Tiとして61%)  
化学式・分子量 TiI<sub>3</sub> = 331.27  
化審法公示番号 1-1169  
CAS No. 7790-30-9  
危険有害成分 よう化タリウム( )

4.応急処置

目に入った場合 ;直ちに多量の水で15分以上洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合;多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

吸入した場合 ;新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。

誤飲した場合 ;多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。1%よう化ナトリウムで胃洗浄を行い、塩類下剤を投与、次いで緩和剤を用いる。

5.火災時の処置

消火方法 ;本品は不燃性である。周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。

作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

消火剤 ;水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など。

6.漏出時の措置

通気換気を充分に行い、粉塵がたたないように掃き集めできるだけ空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。

風下で作業をしない。

この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

・取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。

・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。

・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

・作業後には手洗い、うがいを励行する。

保管

・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準 ; 設定されていない。  
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値 ; 設定されていない。  
ACGIH TLV-TWA 0.1mg(Tl)/m3  
OSHA PEL air TWA 0.1mg(Tl)/m3

### 設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化, または局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー, 手洗い, 洗眼設備を設け, その位置を明瞭に表示する。

### 保護具

防塵マスク, 空気呼吸器, 保護衣, 保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 黄色の結晶  
蒸気密度 データなし  
臭気 データなし  
蒸気圧 データなし  
沸点 824  
比重 7.1  
融点 440  
溶解度 水に微溶, エタノールに不溶。  
アンモニア水に溶ける。  
硝酸にはよう素を発生して溶ける。

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 通常の取扱で安定である。

引火点 データなし(不燃性)  
爆発範囲 データなし(不燃性)  
発火点 データなし(不燃性)

## 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 経口 ラット LDLo = 55mg/kg  
皮下 マウス LDLo = 28mg/kg  
刺激性 データなし  
変異原性 データなし  
がん原性 データなし  
慢性毒性 多発性神経炎と脱毛

## 12. 環境影響情報

魚毒性 データなし  
残留性/分解性 データなし  
生体蓄積性 データなし

## 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

## 14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 : クラス 6.1 (毒物) PG II  
国連番号 : 1707 (タリウム化合物)  
海洋汚染物質: 該当 (P)

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当  
(改正前PRTR法: 第2種指定化学物質 No.44)  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 非該当  
船舶安全法(危規則) : 毒物類  
航空法 : 毒物  
海洋汚染防止法 : 海洋汚染物質(P物質)

## 16.その他の情報

### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。